

令和元年度文部科学省委託事業「がん教育総合支援事業」報告書

学校等名 長崎県立大村城南高等学校

担当者名 相田 由紀子

電話 0957-54-3121

F A X 0957-27-3056

実施日 令和元年11月29日(金) 13:30 ~ 16:30

場所 長崎県立大村城南高等学校 会議室

講座名 職員研修会「がん教育について」

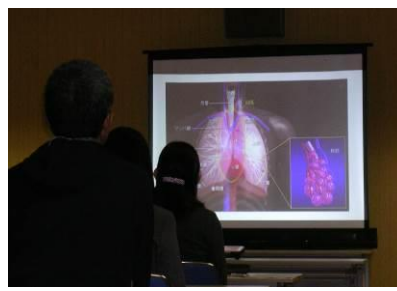
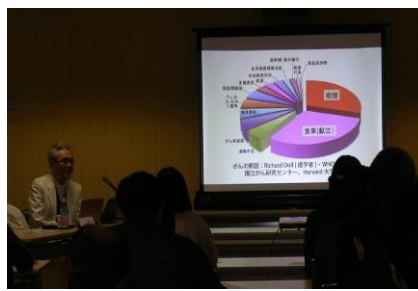
講師 石田 賢二 氏 (医師)

近隣校への案内 案内先: 大村高等学校(全日制・定時制)、大村工業高等学校、向陽高等学校、ろう学校、虹の原特別支援学校、大村特別支援学校(本校・西大村分教室) 計 6校

参加者	児童・生徒 学年 ( )人	学校職員 ( 28 )人	保護者 ( )人	他校職員等 ( 6 )人	その他 ( )人
-----	---------------------	-----------------	-------------	-----------------	-------------

テーマと内容  
 テーマ「がん教育について」  
 ・「がん教育」を取り巻く状況、長崎県教育委員会の取組(保健主事による説明)  
 ・がんの要因や種類、予防と治療法、早期発見と検診(講師による講話)  
 ・がん患者や家族への理解(講師による講話)

＜当日の様子＞ \*事業の様子等を必ず画像で添付してください。



＜講師からの指導や助言・成果＞

- ・がんの危険因子となる喫煙・食事・運動不足・肥満など、日頃の生活習慣から見直す必要があること、しっかりとした知識を持つことが予防につながることを学んだ。
- ・早期発見と検診が重要であること、がん患者や家族への対応は、変に励ますのではなく、寄り添いながら、できるだけ普段どおりに行うことが大切であることがわかった。
- ・職員の感想等から、がん教育の目的や意義についての共通理解やがんに関する知識が深まったと感じている。

＜今後の取組及び課題＞

今後は、がんの知識や予防以外に、がん罹患からの日常生活の変化、支援などにも目を向け、自他ともに大切にすることができる生徒を育てていきたい。  
 がん教育の実践に向け、がんで近親者を亡くした生徒やがん罹患している人が近くにいる生徒への配慮やがんを自分のこととして捉えさせる工夫について、検討していく予定である。